

第18回 市民動物園会議

会 議 録

日 時：平成25年5月28日（火）午後4時開会
場 所：円山動物園内 動物園科学館

1. 開 会

○事務局（見上円山動物園長） ただいまから、第18回市民動物園会議を開催いたします。

まず、本日の会議の出欠でございますけれども、原田顧問と鈴木委員と松浦委員から、所用のために欠席というご連絡をいただいております。

2. 挨拶

○事務局（見上円山動物園長） それでは、開会に当たりまして、みどり環境担当局長の村山からご挨拶を申し上げます。

○村山みどり環境担当局長 皆さん、こんにちは。

この4月にみどり環境局長に就任しました村山でございます。よろしくお願いいたします。

本日は、平成24年度の事業報告と平成25年度の主な行事、予算、さらには、平成24年度に策定いたしました基本計画の進捗状況についてご説明させていただきたいと思っております。

皆様から忌憚のないご意見を頂戴しながら、よりよい動物園を目指しまして、いろいろと施策に反映させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

なお、今、会議を抜けてこちらに来ておりまして、この後、30分ぐらいしたら戻らなければなりません。ご容赦願いたいと思います。

本日は、よろしくお願いいたします。

○事務局（見上円山動物園長） また、局長と同じく、4月の人事異動で2名の新しい課長が来ておりますので、紹介させていただきます。

まず、経営管理課長の木村でございます。

○事務局（木村経営管理課長） 経営管理課長の木村でございます。これからいろいろと勉強してまいりたいと思います。ご指導のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局（見上円山動物園長） 調整担当課長の小山でございます。

○事務局（小山調整担当課長） イベントと戦略的広報を担当させていただきます小山と申します。よろしくお願いいたします。

○事務局（見上円山動物園長） それでは、これ以降の会議の進行につきましては、金子委員長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

3. 議 事

○金子委員長 それでは、ただいまから、市民動物園会議を始めたいと思います。

私も、できれば早目に来て爬虫類のところを見たかったのですが、残念に思っています。

それでは、早速、議事に入りたいと思います。

まず、議題1の平成24年度の運営状況について、ご説明をお願いしたいと思います。

○事務局（木村経営管理課長） 私から、資料に基づいてご説明させていただきます。

平成24年度運営状況について、まず、右肩に資料1-1と書いているものをごらんいただければと存じます。

表とグラフでございますが、来園者の状況でございます。

まず、左上の表をごらんいただきたいと思います。

平成24年度につきましては、紫色が年間の合計欄でございますけれども、入園者数は74万8,321人ございました。その右に目を移していただきますと、平成23年度は、79万1,754人となっております。昨年度に比べますと約4万人の減で、率にして5.5%の減という状況でございます。

月別の状況でございますが、欄の右にパーセントが書いてありますが、こちらにピンクと青で色づけをしているところがございまして、これが前年度比の割合でございます。ピンクがふえた月、青が減った月をあらわしております。

平成24年度につきましては、前半は人気動物の出産などの話題性が少なかったこと、また、ゴールデンウィークの後半につきましては、ほとんど雨にたたられるということもございまして、7月までは、月に2万人程度、昨年度の入園者数を下回ったところでございます。

これを踏まえまして、8月以降は、猛暑、残暑が大変厳しかった中でございますけれども、例えば、夜の動物園の企画を工夫するなど、話題性を高めるとともに、集中的に広報活動を展開したことなどによりまして、マイナス幅を圧縮することができました。それから、10月には、レッサーパンダの双子の赤ちゃんの公開がありまして、初めて昨年度を上回った状況でございます。

翌11月ですけれども、雪の降り始めはかなり遅かったのですが、後半は寒い日が続きまして、そのまま根雪、積雪状態になりまして、お子さんを中心とした来園者数が減少しまして、大幅な減となっております。

次いで、12月から3月までは、来園者数を大きく伸ばすことができました。これは、何といたっても、12月12日のわくわくアジアゾーンのオープンによる効果が大きいと思っておりますけれども、これ以外にも、正月三が日のイベントとか雪まつりと連動させたスノーフェスティバルの効果も挙げられると考えております。

このように、後半はかなり持ち直すことができましたが、年間を通しましては、さきに申し上げましたとおり、前年比で5.5%の減という残念な結果となりました。しかしながら、特に12月以降の入園者の伸びにつきましては、平成25年度に期待が持てるものとなっていると考えております。

次に、資料1-2をごらんください。

昨年度、平成24年度の経理の状況でございます。

円山動物園の基本構想などにおきまして、持続可能な経営の考え方ということで、表の1にございます入園料を初めとした歳入、その下の人件費や施設整備費を除いた経常経費の収支均衡を図ることを目標としておりますことから、この資料のような表立てで比較を

しているところでございます。

まず、歳入についてでございます。

表の一番右に平成24年度の決算見込みがでございます。最終的な確定は、誤納付の還付などがございまして、5月の末になるものですから、あくまでも見込みと書いておりますけれども、ほぼ確定でございます。

まず、入園料につきましては、前年度の平成23年度より約2億1,500万円の減、率にして約9%の減という状況でございました。

先ほど、入園者数が5.5%減少したと申し上げましたけれども、無料の入園者の割合が平成23年度と比べて多かったことから、入園料収入の減りがそれよりも多くなったと考えております。

一方、広告料ですけれども、アジアゾーンのネーミングライツなどがございまして、大幅にふえているところでございます。また、企業などからの寄附金ですが、主に商品の売り上げに伴うものが多いのですけれども、これらも大きく伸びているところでございます。

歳入を合計いたしますと、2億3,500万円ほどでございまして、前年度、平成23年度に比べまして約4%の減少の見込みでございます。

次に、支出のうち、いわゆる経常経費についてでございます。

上下水道料、重油・灯油代等、電気・プロパン代とありますけれども、いわゆる光熱水費につきましては、単価の上昇もありましたが、節約に努めた結果、昨年よりも減少している状況でございます。一方、維持管理・委託費とくくっているところでございますが、こちらは約1,600万円の増となっております。これは、建物の補修で前年度より約250万円多かったこと、また、備品の購入が前年度より約1,400万円多かったことなどが要因でございます。

備品につきましては、これまで保留されていた予算の執行が認められたことから、例えば、チンパンジーの監視カメラシステムとか、老朽化していた公用車とか、これまで予算の都合で購入を控えていたものの更新を行ったところでございます。

これら経常経費の合計につきましては、3億9,500万円余ということで、前年度と比べますと、約2.5%の増となっております。

それから、3と番号を打っておりますけれども、最終的に一番下でございます歳入と経常経費の収支差でございます。

平成24年度の状態ですけれども、結果といたしまして、平成23年度に比べますと、1億6,000万円ほど、率にして13.9%の収支差の拡大、いわゆる赤字の拡大という状況でございます。

今後につきましては、入園者数の増はもちろんでございますけれども、広告、寄附につながるような積極的な営業に一層努めながら、歳入の増加を図るとともに、支出面につきましても、経費の圧縮を可能な限り図りまして、最終的には、動物園の基本計画の最終年度でございます平成28年度の収支均衡を目指して取り組んでまいりたいと考えていると

ころでございます。

次に、もう一枚めくっていただきまして、こちらは両面になっておりますが、資料1-3をごらんください。

平成24年度に実施した主な行事でございます。

新たに実施した行事につきましては、黒丸をつけているところでございます。そのほかにつきましては、前年度も行っていた行事を継続しているものでございますが、それらも工夫、改善を加えながら、個々の行事の魅力を高めて実施するよう努めたところでございます。

例えば、表面の真ん中より少し下になりますが、夜の動物園につきましては、平成23年度と同様に、7月から8月にかけての土曜日とお盆の期間に実施したところでございますけれども、新しい取り組みとしまして、夜の動物園の開催日ごとにテーマを設定して、イベントを行うなどしております。その結果、前年度と比べ各回で平均して1,000人以上多いお客様がおいでになっております。

これら限られた予算の中で工夫を凝らしながら、また、企業や団体の皆様からのご支援をいただきながら取り組んでいるところでございます。

平成24年度の運営状況の説明は、以上でございます。

○金子委員長 ありがとうございます。

それでは、資料1、2、3とありますけれども、内容が別々ですから、それぞれやっていきまして、後ほどトータルでご議論いただければと思います。

まず、資料1-1の来園者の状況につきまして、ご質問等がございましたらお願いします。

私から質問しますが、今も4月、5月はかなり伸びているのですか。

○事務局（見上円山動物園長） 伸びています。4月も、前年度と比べると大幅な増になっております。5月も、確かにゴールデンウィーク期間中は雨が降ったりで前年比で1万人ほど減りましたけれども、5月の月間で見ると、既に去年の月間を上回っております。

4月は、率にして3.5%の増でありました。5月は、今の時点で50%増という状況です。

○事務局（木村経営管理課長） 去年の4月は、ゴールデンウィークの前半は大変好天に恵まれた影響がありまして、連休に入る前は30%以上多かったのですが、連休の雨の影響で、最終的に4月は今申し上げた程度の増にとどまっておりますが、5月は今申し上げたとおりでございます。

○金子委員長 それでは、見込み的には、ことはかなり増えそうな状況でしょうか。

○事務局（見上円山動物園長） 基本計画の目標としては92万人としております。これは、平成21年度にホッキョクグマのツインズが誕生して公開した年で92万人ほどになっておりますけれども、計画では92万人を目標として置きつつ、さらに100万人を目指すということです。

○金子委員長 過去最高が92万人ですね。

○事務局（見上円山動物園長） そうです。

○金子委員長 ほかにいかがでしょうか。

（「なし」と発言する者あり）

○金子委員長 それでは、資料1-2の経理状況につきまして、何かございましたらお願いします。

私から一つ伺います。

赤字が結構膨らんでいるということですが、92万人くらいになると、入場料収入だけで赤字幅は圧縮されるのですか。

○事務局（見上円山動物園長） 平成24年度で約75万人でしたけれども、これが92万人にふえることによって6,000万円ほどの収入増になります。後ほど、基本計画の進捗状況の中でご説明しようと思っておりましたが、収入で92万人を達成できれば6,000万円の増で、経費削減もいろいろ工夫することによりまして4,000万円ほどの削減を見込んでおりますので、あわせて1億円ぐらいいは好転するかと考えています。

○金子委員長 ほかにいかがでしょうか。

（「なし」と発言する者あり）

○金子委員長 それでは、また何かありましたら、最後のほうにでもお願いしたいと思います。

それでは、資料1-3の平成24年度の主な行事につきましてはいかがでしょう。

（「なし」と発言する者あり）

○金子委員長 もしなければ、また最後をお願いしたいと思いますけれども、平成25年度の予算等について、ご説明をお願いします。

○事務局（木村経営管理課長） 引き続き、私からご説明を申し上げたいと思います。

平成25年度の予算等の概要についてです。

まず、資料2-1の予算等の概要の表でございます。

歳入歳出に分かれておりますけれども、歳入予算につきましては、昨年度予算よりも約1,660万円多い2億8,470万円余を見込んでいるところでございます。平成24年度の決算見込みから比較しますと、大体5,000万円ほどの増という形になります。

次に、歳出の予算でございます。

動物園の予算は大きく二つに分かれておりまして、動物園運営管理費につきましては、動物園の経常的な運営経費でございます。こちらは、約4億8,700万円でございます。細かく分かれておりますけれども、このうち、教育普及事業費とありますのは、環境教育の場として動物園を有効に利用してもらうための事業費でございます。学校の総合的な学習の受け入れ等その他が主なものでございます。

大型動物導入検討調査費は、アジアゾウの導入に関する調査経費でございます。

野生動物の復元事業費は、北海道に生息する希少猛禽類等の動物の保護と復元、繁殖に

係る調査研究を行う事業費でございます。そのほかは、動物園経費として一まとめになっております。

昨年度の予算と比べますと、これらの経常的な経費は、アジアゾーンの完成など、施設規模の拡大に伴いまして経常的な経費も増加しているところでございます。

もう一つの大きな柱でございます動物園整備費でございますが、これは、まさに施設設備の建設更新にかかわる経費でございます。こちらは約3億9,800万円の予算を計上しております。昨年度と比べて大きく減っておりますけれども、昨年度につきましては、アジアゾーンの建設費が計上されていたこと、また、これから建設に入りますアフリカゾーンの建設費の大半につきましては、今年度の予算ではなく、平成26年度の予算に計上されることが主な要因でございます。

動物園全体としては、約8億8,500万円余の歳出を予定しているところでございます。

次に、入園者目標数になりますけれども、先ほど園長からお話ございましたけれども、平成24年度に比べますと、約17万2,000人の増で、92万人を入園者の目標としております。

今回は、アジアゾーンの効果や、ホッキョクグマの双子の誕生などもございますので、それよりも多い来園者数で、できるだけ100万人に近い数を目指して頑張りたいと考えているところでございます。

それから、裏面をめぐっていただきますと、今年度に予定されております主な施設の建設等についてでございます。

まずは、アフリカゾーンの建設でございます。こちらは、年内の着工を予定しておりますけれども、先ほどもご説明申し上げましたが、本格的な工事は、平成26年度になってから予定をしているところでございます。

このほかに、工事の前段階の設計といたしまして、サル山の改修の設計、それから、新しいホッキョクグマ館の建設に関する設計も予定をしているところでございます。

このほかに、平成25年度は、モンキーハウスの改修を実施する予定でございます。

簡単ではございますが、平成25年度予算につきましては以上でございます。

次に、平成25年度の主な行事予定ということで、資料2-2をごらんください。

先ほどご説明を申し上げましたけれども、平成24年度の行事をベースに組んでいるところでございます。ただ、これまでやってきたからといって、同じことを継続して行うのではなく、昨年度の実施の結果を踏まえまして、当然、スクラップ・アンド・ビルドも行いまして、既存の実施する事業につきましても、工夫、改善を加えながら、個々の行事の魅力を高めて、入園者の増につなげてまいりたいと考えているところでございます。

なお、提供していただくスポンサーの関係その他もありまして、平成24年度に実施した行事よりもリストが少し寂しく感じるわけですが、具体化したものにつきましては、これから順々に入ってまいりますので、最終的には、平成24年度以上の行事を実施

しまして、来園者増につなげてまいりたいと考えているところでございます。

平成25年度の予算等の説明については、以上でございます。

○金子委員長 ありがとうございます。

こちらにも二つの大きな内容がございますので、まずは、平成25年度の予算等概要という資料2-1についてご議論をいただきたいと思っておりますけれども、いかがでしょうか。

○橋本委員 私は、市の職員でもないし、議員でもないのですが、数字のことについてとやかく言う気はないのですけれども、見方がわからないので、教えてほしいのです。

経理状況の決算見込みの資料1-2の平成24年度の歳入予算と、資料2-1の平成25年度の予算等の概要の平成24年度の歳入予算の合計が、2億6,812万6,000円ということで、ここは一致しています。そして、支出の経常経費の平成24年度の予算の4億854万4,000円は、この歳出のどの部分の合計に当てはまるのかを教えてくださいたいのです。動物園運営管理費を経常経費というふうに見たらいいのか、4億850万4,000円という数字はどの合計に当てはまるのかということです。

○事務局（木村経営管理課長） 資料2は、事業の目的ごとにまとめてあるのですが、資料1の平成24年度の経常経費として上げているものにつきましては、それぞれの性質に合わせて整理をしております。資料1でご説明させていただいた経費につきましては、職員の時間外勤務手当や臨時職員等の給与、報酬等が入っていない形になります。その辺で金額の差があります。あとは、整備費といたしまして、建物の補修費その他の経費が資料1のほうでは入っていない状況でございます。このことから、金額に差が生じております。

○事務局（村山みどり環境担当局長） 動物園経営費の「476,692千円」の内りだということです。何が違うかということ、人件費にかかる分を除いているので、その差が6,800万円くらいあるということです。

○事務局（佐々木経営係長） 建物補修と人件費に係る部分を除いているということですね。

○事務局（村山みどり環境担当局長） 資料1-2は、純粹に施設の運営にかかる経費でございまして、人の分は入っていないということですね。

○事務局（木村経営管理課長） そうです。

○橋本委員 資料1-2には、「人件費・整備費を除く」と書いていますね。

○事務局（村山みどり環境担当局長） 整備費は、3億9,800万円が入っていないということですね。

○野村委員 人件費といっても、職員の給料は入っていないのですね。

○事務局（村山みどり環境担当局長） もともと入っていないです。

○野村委員 臨時の方の人件費ですね。

○事務局（村山みどり環境担当局長） 時間外は正職員の分も入っています。

○野村委員 時間外はこちらなのですね。

○橋本委員 要は、動物園運営管理費の4億7,212万1,000円から人件費を引いたら、資料1-2の平成24年度の予算の4億854万4,000円ぐらいになるということですね。ここを対比しているということですね。

○事務局（木村経営管理課長） そうです。

確かに、資料のつくりとして、その辺がわかりづらい面もございますので、次回以降は検討させていただきたいと思います。

○橋本委員 私は運営にかかわっているわけではないのですが、あえて申し上げますと、この資料で、我々がここに集まって議論をするときは、この数字を見てどこを議論すればいいのかなと思うのです。

例えば、平成24年度の予算では、歳入が結果的には2億3,000万円くらいになりますね。支出も、結局は15億円を切るぐらいになると思うのです。我々がここに集まって議論をするときに、何を対象に議論をすればいいのか、こういう予算、決算を見せようと、やはり原点に戻ってしまうような気がしたものですから、そういう質問をさせていただいたのです。

もちろん、本筋がどうのこうのとか、直せという話ではありません。そういう立場ではないですからね。ただ、議論をするときに、下のほうの動物園整備費とか動物園基本計画事業費などは、我々には全く関係ない話になってきますね。我々にしてみたら、動物園運営管理費のわずか4億何ぼの数字と歳入について議論してくれということで集められているのだとしたら、この数字がわかりづらかったものですから、そういう意味で質問したのです。

○事務局（村山みどり環境担当局長） 先ほどの赤字、黒字という話は、経常的にかかってくるもので、歳入と見ていまして、1億6,000万円の赤字ということです。これを企業のように突き詰めていくと、例えば、正職員のお金も入っていないということで、何のために見るのかという話になるのですけれども、そもそも社会教育施設という役割があるので、市税を投入するということが当然ありますから、そういったところでは、収支だけを見るのはいかがかなというところがありますが、動物園は経営的な感覚も持たなければいけないので、そこら辺のチェックを皆様方にさせていただきたいという意味です。

それから、2-1については、例えば、きょうも忌憚のないご意見を出していただきたいと思いますけれども、そのときに、何を整備したらいいという話になると、2-1の整備費の話にもなりますので、例えば、大体同じ水準で整備費が走っているとして、何かをやめたときには何かができるねという話になるとすれば、ここでお示しして、ご理解をいただくことも必要になると思います。その二つの役割があると思っております。

○金子委員長 ありがとうございます。

市民動物園会議は、赤字を減らすにはどうしたらいいかという議論をする場ではないと思いますので、もっと夢のあるような話で、こういう整備をしたらいいとか、こういう施設をつくったらいいのではないかと、あるいはソフト的な事業としてこういうものを行った

ほうがいいのではないかという前向きな部分で皆さんにご議論いただければと思います。

○野村委員 ただ、今、橋本委員がおっしゃったように、こちらで最初に説明を受けて、この数字があって、次の資料を見たときに、数字が違っていると。例えば、学校でPTAの予算の説明を受けたときに、出された数字がわかるようになっているのが一般的ではないかと思います。そうすると、この中にどれが当てはまるのかという質問は当然だと思います。せっかくこんなに緻密な資料をつくられるのであれば、一目瞭然的なものをつくるべきです。

そういう姿勢でなければ、せっかくこれだけ費やしてきれいにされる中でも、わかりにくさが問題になるのではないかと思います。

○事務局（村山みどり環境担当局長） 資料2-1の動物園経営費のところは内訳が出せると思いますので、その中で示すことができると思います。

○野村委員 それを細かくしてくださいと言っているわけではなくて、今後、こういう資料をお出しになるとすれば、ぱっと見て、2で経常経費とあれば、こちらではどこに入るのかなとぱっとわかる資料でなければ、配付しても、今のような時間をとるような質問が出ることになると思います。

○事務局（村山みどり環境担当局長） 動物園経営費の中を二つに分ければいいと思うのです。資料1-2で、平成24年度で言うと、4億854万4,000円とありますね。これとそれ以外のものというふうに分けて表示すれば突合すると思います。

○野村委員 そうすると、質問も出なかったのではないかと思います。ほかのことも含めて、そういう姿勢が大事なのではないかと思いました。私も疑問に思いました。

○金子委員長 ありがとうございます。

また、次回以降、わかりやすい資料をつくっていただければと思います。

そのほかいかがでしょうか。

○中山委員 聞き逃してしまったのですが、イベントの10月と11月がぼっかり抜けているのは、どうしたのですか。

○事務局（木村経営管理課長） 10月と11月ですけれども、ほかも含めまして、イベントの予定はございますが、具体的なスポンサーやジョイントする相手との調整がまだついていないものがありまして、それで掲載していません。はっきりし次第、また入れていて、最終的には、昨年度並みか、それ以上の行事を実施して、多くの来園者に来ていただけるようにしたいと考えております。

○中山委員 ありがとうございます。

○事務局（村山みどり環境担当局長） ここで退室させていただきます。申しわけありません。

[みどり環境担当局長は退室]

○金子委員長 予算について、ほかにありませんか。

○高井副委員長 資料2-1の確認ですが、先ほど橋本委員から人件費が入っていないと

いう話がありましたけれども、資産のほうで、債務負担行為の12億円というのはどんな意味なのかということだけ教えていただければと思います。

また、園内熱源転換整備とアジアゾーン建設費に10億円ですけれども、これは何年かけてやったのか、今年度限りで10億円なのかということも伺いたいと思います。

○事務局（佐々木経営係長） 園内熱源転換は3年かけて工事をしまして、これらは、そこに係る単年度の予算として最終年度に3億円がついております。アジアゾーンの建設費については、全部で12億円ちょっとですけれども、2年で工事をしております、後年次のほうがちょっと多く、この年度には7億円を計上させていただいております。

○高井副委員長 アフリカゾーンの12億円で、今年度の2億7,600円というのは、今年度にもう開始するという事なのですね。

○事務局（木村経営管理課長） そうです。2億7,600万円が今年度で、平成26年度に12億円ということです。

○事務局（見上円山動物園長） 秋口から冬くらいに、基礎というか、くい打ちなどの工事が始まりますので、その分で2億7,000万円です。

○高井副委員長 それでは、債務負担行為というのは、この後にそれが加わるということで、その一部を先に払っているということですね。

○事務局（見上円山動物園長） 平成25年度の2億7,000万円と平成26年度の12億円を足してトータルの事業費となります。

○金子委員長 ほかに、予算等で何かございましたらお願いします。

（「なし」と発言する者あり）

○金子委員長 それでは、よろしいでしょうか。

（「異議なし」と発言する者あり）

○金子委員長 それでは、平成25年度の主な行事について、ご意見等があればお願いしたいと思います。

○野村委員 5月5日の夜桜ZOOは、かなり寒いときでしたけれども、ことしはどのくらい入ったのでしょうか。

○事務局（佐々木経営係長） 1日で1万5,000人ぐらい入りまして、夕方の4時半ぐらいから雨が降ってしまったものですから、夜だけで1,800人ぐらいです。晴れていれば4,000人くらいは来ていただけたのではないかと考えております。

○野村委員 桜もなかったですね。

○金子委員長 わくわくアジアゾーンに特化したようなイベントは入っているのですか。

○事務局（見上円山動物園長） 平成25年度は、アジアに特化したものは特に考えておりません。

○金子委員長 アフリカという部分でもまだですね。

○事務局（見上円山動物園長） まだです。

○金子委員長 せっかく造ったので、わくわくアジアゾーン向けと、これからアフリカゾ

ーンができますので、アジア、アフリカに特化したようなイベントがあってもいいのかなという気がします。特に、アジアゾーンは、せっかく新しいものができたのですからね。

○事務局（柴田飼育展示課長） ゴールデンウィークでしたね。

○事務局（佐々木経営係長） ゴールデンウィークに、アジアウィークということでイベントを打ちまして、アジアゾーンが新しくオープンしましたということで紹介しています。

○金子委員長 それは、ここにあるのですか。記念イベントというのは、春まつりの中に入っているのですね。

○事務局（佐々木経営係長） 夏に向けて、今度は屋外に動物が徐々に出てきますので、その辺は夏休みとうまくぶつけて、屋外にマレーバクが出てきたり、テナガザルが出てきたりにあわせて何かイベントを打っていきたいと思います。

○金子委員長 ホッキョクグマ向けのイベントみたいなものはあるのですか。

○事務局（見上円山動物園長） いろいろな機会を通じてPRをしていこうと思っております。ちょうど性別が雌ということがわかりましたので、今まさに、アニマルファミリーの会員に名前の募集をしまして、それを一般市民に向けて園内、あるいは、協賛企業のトヨペットやコープの店舗で投票できるような格好にしたいと思います。今、一般の方に投票していただいて、また命名式など、関連のイベントをやろうと思っております。

また、タイミングとしては遅かったと思いますけれども、雪まつりで、つどーむ会場でやった、しろくまカフェですね。あれは、たしかアニメでやっていて、3月いっぱい終わってしまったと思うのですが、例えば命名式などのいろいろなイベントにあわせてしろくまカフェをやってみようというような企画はあります。

○金子委員長 アジアゾーンや先ほどの寄附の話で聞きましたら、シロクマのラーメンが物すごく売れているということですね。そういうものとのタイアップやホッキョクグマをうまくアピールして来場者をふやすことを考えてはどうかと思います。何となく、これを見ていると、ことしに特化したというか、ことしならではというイベントを入れたほうがいいのではないかとこの気がします。

○事務局（見上円山動物園長） まさに委員長がおっしゃるとおりで、ことしの売りはホッキョクグマだと思っておりますので、ホッキョクグマを活用して、PRだけではなくて、イベントなどもやっていきたいと思っております。これには細かいものは出てきていませんけれども、私どもとしては、ホッキョクグマをことしの売りにしていこうと思っております。

○金子委員長 それがもう少し見えるようなイベント的なものがあつたほうがいいと思います。

○石川委員 きょうは、たまたま私一人だけだったということもあるのですが、カップルが多くてびっくりしたのです。私が来るときは、子どもを連れてくるので、子ども連れが多いのかなと思って見ていましたが、火曜日の3時から4時の間でこんなにカップルが来

ているのかと思ひまして、ちょっと意外でした。逆に、カップル向けのイベントは、恋人たちのクリスマスナイトぐらいですから、ちょっと上の年齢に向けたイベントがもう少しあってもいいのかなと思ひますし、それがあつたら来るのかなと思ひます。うちの子どもが小学生なので、小学生のイベントが多いのはうれしいですが、中高生向けのイベントがもうちょっとあつたら、来る人がふえるのかなと思ひました。

○金子委員長 そのほかはいかがでしょうか。

○牧野委員 今、入園者数は9.2万人を目標にしておりますね。しかし、入園の収入ということになると、小学生は無料ですね。お年寄りも65歳以上は無料ですね。その辺を省いた入園料収入という話になりますので、今言われたカップルとか、保護者が子どもを連れて遊びに来て楽しいというものをメインに持ってこなければ収入はふえていかないと思ひます。無料の人数はふえても収入に結びつかないですから、その辺のターゲットも正確に出されたらよろしいのではないかという気がします。

○金子委員長 ありがとうございます。

ほかはいかがでしょうか。

○小山委員 去年の会議で、ホームページで動画を載せられないかという話と、SNSで双方向に書き込めるような見せ方ができないかという話がちょっと出たと思うのですが、その後、それについての検討はされていますか。

○事務局（見上円山動物園長） 私も25年度のできるだけ早い時期に実施に移したいと思ひて、そういうふうにお答えしたと思ひますが、今の時点では検討中です。ただ、スマホを使ったアプリをリリースしました。

○事務局（小山調整担当課長） 今のところはアンドロイド対応ですけれども、5月2日に円山動物園にリンクできるようなものにしました。ま順次、動画も含めてコンテンツを充実させていきたいと思ひます。

コンテンツの充実とともに、今はアンドロイドですが、アップル系のiPhoneなどにも対応できるように進めております。

○中山委員 どんなアプリですか。

○事務局（見上円山動物園長） キャッチフレーズが「いつでも手のひら動物園」ということで、スモールスタートで始めまして、これから充実させていこうと思ひています。

○野村委員 私の周りにアンドロイドを使っている人がほとんどいなかったの、見られなかったのです。

○事務局（見上円山動物園長） アップルも申請したのですが、一旦止まった状況になっております。それは、アップル自体がだめというよりも、リンク先がうまくいかないのです。例えば、動画も見られるようになっているのですが、アップルのほうは、フラッシュプレーヤーではだめで、ユーチューブでなければ認められないとか、形式的な問題があつて、今はストップがかかっています。ユーチューブに切りかえようと作業をしていますので、iPhoneでも間もなく見られるようになると思ひます。

○中山委員 動画が見られるのですか。

○事務局（見上円山動物園長） 動画も見られるようになります。

○事務局（小山調整担当課長） MP4 形式に変換したり、フラッシュプレーヤーが使えない iPhone 系に対応できるような動画をつくり込まなければいけない段階です。

○中山委員 アプリにした理由は何ですか。

○事務局（小山調整担当課長） 「いつでも手のひら動物園」ということで、中学生ぐらいの方に予習をしてもらおうということが一つです。もう一つは、アプリの中に、ゴールデンウイークなどで来場者が 1 万人ぐらいになると迷子がふえますので、すぐに本部に電話ができるような機能がついているのです。公衆電話が 1 箇所しかないものですから。

○中山委員 動物の画像と解説などは、ウェブ環境がなくてもローカルで見られるのですか。

○事務局（岡本職員） ウェブ環境が必要なのです。外部サイトのスマートフォン用のサイトにリンクが飛ぶような形になっております。ですから、従来のブラウザで見ると、通常の PC 用サイトに飛ぶようになっていたのですが、アプリのリンク先としては、スマートフォンサイズにリサイズされた見やすいサイトに飛ぶような形になっています。

○中山委員 では、スマホ用サイトをつくって、そのリンク集みたいなイメージですか。

○事務局（岡本職員） 今現在は、そのような形になっております。

○金子委員長 今お話がありましたけれども、前のときもフェイスブックやツイッターという簡単なツールを使って情報発信をしたほうがよろしいのではないかという話が出たかと思えます。今、私どものほうにもメールで情報をいただいておりますので、それを一般に公開するような形にするだけで、ファンが結構ふえるのではないかという気がするのです。実際に訪れた方がフェイスブックの投稿のようなところにちょっと書くと、ほかの方もそれを見られる。それは、動物園の責任ではなくて、来られた方々の投稿リストですから、特に問題なくて、本当に問題があるような発言があれば、処理をするような形になると思えますけれども、そのあたりは、ぜひ早急にお願ひできないかと思えます。

○事務局（小山調整担当課長） 昨年の市民動物園会議でその話題があったということで引き継ぎを受けております。

私どもは環境局円山動物園という組織ですが、札幌市としての情報セキュリティポリシーの面もありまして、それぞれの部局で立ち上げるのは避けてほしいということだったのです。やはり、委員長がおっしゃったように、変な書き込みにどう対応するのだということころがあったりするのです。

○中山委員 規約ができないとだめだと言っていましたね。

○事務局（小山調整担当課長） 一つには、スマホアプリがあります。ツイッターについては、広報部から円山動物園の情報を発信してもらっています。広報部に情報提供し、広報部からツイッターでという形になっています。

フェイスブックについては、今日の結論にはならないと思えますが、提案ですけれども、

市民動物園会議でフェイスブックを持つことができないかなと思っています。例えば、札幌スタイルというページがあります。札幌スタイルは、一見、任意団体でありながら、そのような体裁にしつつ、実態はものづくり産業課なのです。あるいは、キャンドルナイト実行委員会というフェイスブックもありますが、それも実態は環境計画課です。ですから、これは今日の議題ではないのですが、組織ではない形での立ち上げができないものかなと思っています。

○事務局（見上円山動物園長） 円山動物園の公式ではなく、例えば市民動物園会議の名前を借りて、いろいろと書き込むのは我々がやるというイメージです。

○金子委員長 それはすばらしいと思います。とにかく、情報はどんどん出していったほうがいいと思うのです。先ほど言ったように、変な嫌がらせのようなことがあったときの対処方法は少し考えなければいけないと思うのです。それは、市がやっているということではなくて、任意団体というか、有志でやっていますということであれば、そういうトラブルに対しても別な解決策が出てくると思います。中山委員のようなプロの方もいらっしゃるわけですからね。

○事務局（見上円山動物園長） 市民動物園会議というより、架空のものの方がいいかもしれません。

○金子委員長 ファンクラブでもいいですね。

○石川委員 アニマルファミリーで立ち上げるのはだめなのでしょうか。

○中山委員 実働は動物園の中でやられるのですね。

○事務局（見上円山動物園長） 実働は動物園の職員がします。ある意味、名前をお借りするような格好です。

○金子委員長 どんな形であれ、ぜひ情報発信はお願いしたいと思います。

○小山委員 ツイッターで円山動物園を検索すると、結構出てくるものですね。

○野村委員 多分、きょう動物園に来ていたカップルが、自分のツイッターで何人もつぶやいていると思うのです。ですから、難しく考えないで、今日はこんな動物園の様子で、餌やりはにぎわっていますとかです。私はツイッターもフェイスブックもやっていないのですが、この間、中山委員がおっしゃっていたように、発信するだけのものもありますね。そういうものから、会議の名前で出されても、動物園の職員も会議の事務局ですから何の問題もないと思います。とにかく、さっさとしないとだめですね。

○金子委員長 市民動物園会議というオフィシャルな会議で、次回になると、また何か月もあいてしまいます。ですから、もし皆さんがよろしければ、有志でやるということとここで決めて、参加していただける方がいれば、市民動物園会議とアニマルファミリーと連名だっていいわけですね。そういうファンクラブでフェイスブックを立ち上げました、ツイッターをやっていますという形にして、皆さんがよろしければ、ワーキンググループで今月でも来月でも一度集まって、動物園と一緒にどうしましょうかと相談するということがいかがでしょうか。

○野村委員 とにかく、さっさとしないと、今どきということになります。

○事務局（小山調整担当課長） 確かに、次回になると夏になってしまいます。今、私どもは、個々人のページがありまして、個人的に情報発信をしている感じなのです。ですから、ちゃんとしたところが欲しいなと思っていました。

○小山委員 ツイッターで円山動物園の検索をしたら、いろいろなところがどんどん入ってきています。この情報量はすごいですね。逆に言えば、円山動物園のホームページの中で、こういう検索をしたら、これだけおいしい宝の山に当たりますという誘導ができないものでしょうか。自分たちがつくるより、みんながどんどん書き込んでいって情報が膨らんでいくほうがおもしろいかもかもしれません。

○金子委員長 動物園からこれ全部を発信するとなると大変な仕事になっていってしまうので、いろいろな方を巻き込み、複合的にしていったほうがいいのではないかと思います。また、反応も入れてもらいながらやれるような仕組みがよろしいのではないかと思います。

もしよろしければ、誰が参加する、参加しないをやるより、メールかファクスで、皆さんにご都合を聞いて、参加していただける方については、市民動物園会議ワーキングのような形にして、その中でアニマルファミリーについても一緒にやれるような形にするとか、そういう相談を別途持つことでいかがでしょうか。

（「異議なし」と発言する者あり）

○金子委員長 それでは、情報発信については、そういう形で進めさせていただきたいと思います。

今、行事から違う話に移っていってしまいましたが、もし行事について特になければ、次の議題のゴールデンウイークに移りたいと思います。

それでは、ゴールデンウイークの来園者数などについて、説明をお願いします。

○事務局（小山調整担当課長） 先ほどのお話と重なるところもありますが、改めて報告させていただきます。

資料3-1をご覧くださいと思います。

ゴールデンウイークということですが、春まつりの期間をとりました。4月27日から5月6日ということです。この期間の来園者数が4万7,213人ということで、先ほどもお話が出ましたけれども、報道によりますと、最高気温が10度未満で、ずっとお日様が出ないのは100年に一度ぐらいで、ゴールデンウイークに桜が開花しないのは20数年ぶりということです。下の表が平成24年度ですが、平均気温が19.9度で、晴れの日も半分ぐらいです。上のことしの表を見ると、本当に雨で、平均気温が8.1度でした。そういうことで入園者数が伸びませんでした。

ホッキョクグマを見たいとかアジアゾーンを見たいということであろうかと思いますが、5月4日に1万539人、5月5日に1万5,049人でした。朝に若干早目に開園しなければならないぐらい人が待っておりました。

結果的に、前年から18%減になりましたけれども、過去の統計でいいますと、土・日、

祝日で雨の日は来園者数が51%減ですから、去年でいうと3万人ぐらいになってしまうと思ったのですが、4万7,000人の18%減でとどまっております。

資料3-2をごらんください。

イベントの実施状況です。

キャラクターショーということで、5月4日に獣雷戦隊キョウリュウジャーショーがありました。

また、昨年12月にアジアゾーンがオープンしまして、オープンを記念し、アジアツアーと銘打ちまして、クイズラリー、サンバイザーの配布、民族衣装の試着会、アジア音楽等々を行いました。

(3) ふわふわ遊具、そして、5月5日にSTVの「マハトマパンチ」の生中継を行いました。この効果で、翌日にいっぱい来てくれるかと思ったのですが、翌日の5月6日も雨でした。

ただ、その効果かどうかわかりませんが、先ほどお話をしましたとおり、ゴールデンウィークの夜に初めて開きました5月5日の夜桜ZOOです。実際は夜桜が咲かなくてごめんねZOOになってしまったわけですが、入園者数は1,826名でした。雨にもかかわらず、これだけ来ていただきました。先ほどカップルのお話がありましたけれども、見たところ、カップルの方が多かったという印象があります。

(6) は、アジアにちなんだお食事等ということです。

春まつりに向けた広報ですが、円山動物園だより「春号」を18万部、それから、チラシを作成して配布しました。ここに書いていませんが、4月15日と20日に、地下歩行空間でも職員が配布させていただきました。

それから、新聞、テレビですが、4月18日にUHBの「U型テレビ」、29日にTVh、5月5日にSTVの「マハトマパンチ」です。それから、地下鉄駅のポスター掲出、ホックョクグマのプールデビューとあわせて市長記者会見を行いました。

その他ですけれども、ばんけいスキー場にもご協力いただきまして、昨年度から引き続きですが、マルヤマン号というばんけいスキー場の駐車場から無料バスを出しております。ばんけいスキー場の駐車場も、円山の駐車場と同じ料金の700円ということで、期間中合計の利用台数は512台という結果です。

私からは以上でございます。

○金子委員長 ありがとうございます。

それでは、ゴールデンウィーク期間中のイベント等実施状況について、何かご質問等がございましたらお願いいたします。

○橋本委員 10日間と9日間ですから、1日違うのですね。それで81%なので、実質はもっとということでしょうか。しょうがないですね。うちもそうでした。

○事務局(小山調整担当課長) 参考ですが、5月18日の土曜日、19日の日曜日と天気がよかったです。18日が1万1,529人、19日が1万628人です。桜も咲い

たということですが、これがもうちょっとずれてくれれば、本当に夜桜ZOOになったなと思います。

○小山委員 5月の入園者が昨年比で5割増になっていたのですね。

○事務局（見上円山動物園長） 今の時点では5割増です。

○小山委員 ゴールデンウイークのときに、円山動物園も旭山動物園も軒並み悪天候にやられたという話が新聞にたくさん載っていました。そのイメージが強いので、逆に言えば、アジアゾーンを含めた円山動物園は、人が来ているのだぞという広報効果が出ていないのではないかと思うのです。逆に言えば、ゴールデンウイークの天気が悪くても5割もふえているというのは、すごくおもしろいニュース素材だと思うのです。逆に言うと、5月末締めで、うちの記者にそういう形で書いてよという話をして、円山動物園はそんなに魅力アップして、ことしはアジアゾーンオープン以来、こんなに伸びているのだというイメージ材料をたっぷり使うほうがいいのではないかと思うのです。意外性というのは、読者は喜ぶなという気がします。

○金子委員長 そうですね。ゴールデンウイーク期間はこれだけ減ったのに、5月をトータルすると物すごくふえているのですからね。

○小山委員 それだけ円山動物園は魅力があるのだといういいアピールになるのではないかと思います。

○事務局（見上円山動物園長） ゴールデンウイーク期間中で1万人減でしたけれども、今の時点で4万人増になっています。

○小山委員 動物園の担当記者は、ネタがなくて困っているから、そういうことをやったらすぐに飛びつきますので、ぜひPRしていただきたいと思います。

○事務局（見上円山動物園長） まだまだアジアゾーンの効果があるのと、今話題のホッキョクグマの双子の効果かなと思います。

○小山委員 暦年でいえば、すごい伸びだという話をたくさんの市民、道民に知ってもらえたらいいなという気がしています。

○金子委員長 前年比でも物すごくふえているということを報道してもらおうと、そんなに人気なのかということで、つられて来られる方もいると思います。

○事務局（見上円山動物園長） ぜひ、情報発信をさせていただきたいと思います。

○高井副委員長 小山委員のおっしゃるとおりで、連休の悪天候の中で旭山動物園を超えたというのはすごいことで、時代は旭山から円山へ、とアピールするいい機会だと思うのです。

円山の強みは、都市型で、地下鉄ですぐに行けて、かつ、アフターファイブとか、それこそデートなどで、2時間くらいでぽっと行って、大通でご飯を食べることもできます。それはいけないのでしょうか、円山動物園で食べたほうがいいのかもかもしれませんが、旭川のように、行ったら帰れなくなる、あるいは、そこに行ってワンポイントで戻ってくるということとはちょっと違うアーバンな動物園で、そこにアジアゾーンやアフリカゾーンと

いう屋内でも見られる寒さに強いものができてきたので、動物園に気づき始めた市民に対して、今度は、もっと手軽に地下鉄で行ってすぐに帰られるというところを強調していくと、旭山動物園の次のブームに持っていける気がします。

○金子委員長 宣伝が少し足りないのかなという感じがします。すばらしいアイデアだと思います。

○牧野委員 ばんけいスキー場の駐車場は512台の利用ですが、前年から見たら大分ふえているのですか。

○事務局（小山調整担当課長） 平成24年度は546台です。

○事務局（佐々木経営係長） 実質、3日しか駐車場があいていない状態だったので、それに比べれば、1日当たりの使っている台数としては……。

○牧野委員 4月27日から5月6日までの期間ですね。

○事務局（佐々木経営係長） 休みの日だけはあけていたのですが、実際に入ってきたのは5月4日と5日だけなのです。それ以外は、ばんけいスキー場にはほとんど回らなかったのです。1日当たりの稼働としては、5月5日は、ばんけいの第1駐車場が満車になっています。

○事務局（小山調整担当課長） やはり、4日、5日ですね。ばんけいスキー場は、4日の土曜日で214台、5日の日曜日で298台です。あとは、4月28日の日曜日に2台です。

○牧野委員 私は、ここに住まいがあるから、見てみると、地方のナンバーが結構多いのです。並んでいるのはかなりの時間ですし、こういうところをPRしてあげて、もっと利用してもらったら、お客さんも待たないで、バス輸送でスムーズに入園できると思います。地元の我々も渋滞が解消されると助かりますし、効率も非常に上がりますから、利用者がもっとふえるのではないかと思います。

○野村委員 これは、毎週末というわけにはいかないのですね。

○事務局（見上円山動物園長） ばんけいバスは、ゴールデンウィークの期間はバスに余裕があるようです。それに対応できるということで、本当は、先ほどもちょっとお話をしましたが、この間の土・日も物すごい渋滞だったのです。そういうときに、盤溪の駐車場が使えるようになれば、非常に効果もあると思いますが、バスの配車の関係で余り余裕がないようです。

○金子委員長 ほかにいかがでしょうか。

（「なし」と発言する者あり）

○金子委員長 それでは、次の基本計画の進捗状況について、ご説明をお願いします。

○事務局（見上円山動物園長） 基本計画の進捗状況につきましては、私からご説明します。

まず、A3判の資料が2枚になっておりますけれども、1枚目をごらんいただきたいと思います。

こちらは、前回の会議で基本計画の概要としてご説明申し上げました。左上に三角の図がございまして、その下の段になりますが、円山動物園の存在意義を高める事業という分野ということで、こうした3つの分野と、それぞれにぶら下がる格好で、9つの項目ごとに、新たな挑戦と成果指標を今回の計画見直しに当たって設定したというご説明をしたと思います。計画の項目の下から3つ目に持続可能な経営戦略という項目がありますが、これにつきましては、成果指標を年間来園者数100万人というものと、基礎収支の均衡という2つの目標を設定しておりますので、成果指標としては全部で10個になっております。こうした目標を達成するため、65の事業から成るアクションプランを策定しております。こうした事業一つ一つの進捗状況を確認して取りまとめたものが次の2枚目の資料です。

2枚目をごらんいただきたいと思います。

項目の5番目の生物多様性の確保に向けた行動というところと、一番下の9番目の項目につきましては、平成24年度にアンケートを実施できなかった、あるいは、ほかの部局でのアンケートを参考にしようと思っていたのですが、そちらが未実施だったということがございまして、平成24年度の検証を行うことができませんでしたが、全体で見ると、10個の項目のうち4項目について、昨年度を上回った状況になっております。

次に、平成25年度の主な事業計画の内容をご説明したいと思います。

こちらは、新規とレベルアップということです。こちらには、継続的なものは記載しておりませんし、新規レベルアップのうちの主なものを記載しております。

まず、項目1ですが、新規としては、中学生向けのワークブックを作成し、あわせて、レベルアップとして、動物病院や獣医師の役割を解説することで、動物園の関心を高めることなどを目的として実施しております園内動物病院プログラムの内容の充実を図ることとしております。また、動物などに関する看板の充実も図るほか、最新の情報となるように、年2回の更新を行うこととしております。

項目2は、野生復帰施設の近くに、新たに、猛禽類の繁殖研究施設を整備することとしております。また、レベルアップとしては、オオムラサキの食草であるエゾエノキを植えかえしまして、オオムラサキの生息環境の改善を図ることとしております。さらに、先ほどもご説明しましたが、新たなホッキョクグマ館の建設に着手することとしております。

項目3は、6月22日に、SAPICAのバス、電車の共通利用が開始になりますけれども、この時期に合わせまして、同じく動物園内で6月22日、23日に環境イベントのアースデイが予定されていますので、そのときに、SAPICAの提示で入園料を半額にしよう、公共交通機関の利用促進を図るような企画も検討しているところでございます。

項目4は、アニマルファミリーです。こちらは、今、一口5,000円、法人であれば1万円ですが、もっと気軽に参加できるように、例えば寄附額を一口500円にするなど、平成26年度からの募集開始を目指して、平成25年度につきましては制度を見直すこととしております。これによりまして、計画の最終年度である平成28年度までに2万人の

会員を確保したいと考えております。

それから、レベルアップとしましては、ドキドキ体験の案内表示を充実したり、来園者が予定を立てやすいように事前告知を行うほか、園内イベントに参加するボランティアの機会もふやしてまいりたいと考えております。

項目5は、新規としては、札幌圏の博物館などと連携しまして、参加型のワークショップを開催するほか、爬虫類の魅力などを伝えるスネークアート展を開催したいと考えております。

項目6は、新規としまして、円山地区など地元住民などを対象とした感謝イベントを開催したいと考えております。また、大倉山やマルヤマクラスなどの商業施設と連携しまして、円山地区の集客と周遊性を高めるようなイベントを開催したいと考えております。

項目7-1では、新規としまして、公用車のラッピングやユーストリーム配信を行いますほか、リピーターを確保するため、動物カードやパスポートブックを導入することとしております。

また、一番下に記載しておりますが、オータムフェストなど都心の集客イベントと連携した企画も予定しているところでございます。

項目7-2では、スノーフェスティバルなどのイベントを民間企業の広告媒体として活用していただくなど、いわゆるソフト事業のネーミングライツのような取り組みを行います。収入増につなげていきたいと考えております。

また、経費削減の面では、アジアゾーンにあります雪冷房システムの融雪水や雨水をプールに再利用するほか、点灯時間が長い照明をLEDに切りかえるなど、省エネに一層取り組むこととしております。さらに、餌の購入方法を見直すなど、契約の見直しなどによりまして支出を抑えたいと考えております。

左に目を移していただきますと、平成24年度の実績値で1億6,000万円ほどの赤字、平成25年度の計画値では5,000万円の赤字ということで、1億円ほど圧縮しなければなりません。先ほどもご説明しましたように、収入で6,000万円の増収、支出削減で4,000万円の減ということで、1億円の改善を図ってまいりたいと考えているところでございます。

項目8は、新規として、台北市立動物園と協力協定のようなものを締結したいと考えております。台北市立動物園は、約100年前に開園した動物園で、開園した当初は円山動物園という同じ名前でした。そういう面で、縁があるだろうということで、実際に台北市立動物園長が円山動物園に来ていただいていろいろ話をして、園長同士で姉妹動物園のようなものを目指して協力関係をつくっていきましょうというお話をしました。

台北市立動物園は、ことしが99周年ということで、台湾の方は、99という数字は100よりも特別な縁起のいい数字であるということもあるので、ぜひ、ことし締結したいと考えております。

具体的なものとしては、台湾の観光客に北海道、札幌にかなりの数でいらっしゃって

ますので、そうした観光客に、さらに足を延ばして円山動物園に来ていただこうという思いで、台北市立動物園で円山動物園のPRをどんどんやらせていただくとか、将来的には動物交換のようなものまでできればいいなと考えております。

それから、これも先ほどお話しさせていただきましたことで、新規の2つ目に記載しておりますが、スマホのアプリを開発するというので、動物の情報やイベント情報に数字で簡単にアクセスできるようなアプリになっておりますが、「いつでも手のひら動物園」ということで、5月2日にリリースしたところです。

それから、レベルアップとしましては、外国語版のパンフレットを更新しますとともに、大人の日飼育体験や、夜の動物園の回数をふやしたいと考えております。

それから、最後の9番目の項目でございますけれども、ここでは、施設系を中心に記載しております。先ほども予算の関係でご説明しましたが、アフリカゾーンの着工や、ホッキョクグマ館の設計着手、あるいは、アジアゾーンの屋外放飼場のオープンなどを予定しております。

レベルアップとしては、モンキーハウス、サル山の改修に着手しますほか、前の会議でも出ていたと思いますが、西門の入り口がわかりづらいというご意見もいただいておりますので、駐車場の改修にあわせてやるよりも、これはすぐにできると思いますので、まずは、西門の案内サインを目立つものにしたいと考えております。

計画の進捗状況の説明につきましては、以上でございます。

○金子委員長 ありがとうございます。

それでは、計画の進捗状況について、ご質問等がありましたらお願いいたします。

○野村委員 私は、いつも円山公園からバスに乗るのですが、ウイズユーカードしか使えなかったもので、まだウイズユーカードしか持っていないのですが、今、もう動物園線はSAPICAが使えますか。

○事務局（見上円山動物園長） まだです。6月22日から全市で一斉にスタートです。

○野村委員 6月22日からは、今、私たちが乗っている円山西町行きも全部使えるようになるのですか。

○事務局（見上円山動物園長） 使えるようになります。ちなみに、SUICAもPASMOも使えるようになります。

○金子委員長 全部統一されるのですね。

○事務局（見上円山動物園長） 観光客の方が札幌市内で移動しやすいようにということを考えております。

○野村委員 SAPICAしか使えないと、観光客の方はだめですからね。

○事務局（見上円山動物園長） 先ほどご説明しませんでしたけれども、今年度、切り紙動物園というものをやります。イベント情報の中に入っていませんでしたが、道新のご協力をいただきながら、子どもたちと親御さん、おじいさん、おばあさんが一緒に、コミュニケーションのツールとして行います。前回は水族園でした。

○野村委員 私が道新に紹介させていただいたのですが、新聞を材料にするので、材料費がかからないのです。以前は、ご自分たちで用意していただいた紙箱で水族館をつくったのですけれども、保護者が一緒にいらして、保護者には、切り紙絵手紙ということで、はがきなのですが、一応、題名は富士山にして、蝦夷富士でもいいと思うのですが、保護者の方がとても真剣に切られておりました。動物もばっちりなので。

○金子委員長 いいですね。いつやられるのですか。

○事務局（見上円山動物園長） 具体的に何日とは決まっておられませんけれども、夏休み中にやりたいと考えています。

○金子委員長 そういうイベント的なものは、これに入っていなくても、随時、できそうなどきにやっていただく形ですね。

○事務局（見上円山動物園長） 先ほど、課長からもお話ししましたが、スポンサーの関係で、まだ具体的なものまで詰まっていなくてありますので、資料に書けなかったということはありません。

○金子委員長 そのほかいかがでしょうか。

（「なし」と発言する者あり）

○金子委員長 それでは、新着動物等について、お願いいたします。

○事務局（柴田飼育展示課長） 資料5をごらんください。

まず、新着・出産の状況ですけれども、3月11日にプレリードッグが出産しました。4年ぶりの出産で、ちょうどゴールデンウィークに顔をたくさん出してくれたので、たくさんのお客さんに見ていただくことができました。

3月21日には、イヌワシの雄が入りまして、雌とのペアリングがこれからできそうです。同じ日に、ノドグロコウカンチョウという南米、アマゾンの鳥が熱帯鳥類館に入っております。

3月26日に、エランドのラッシュがまた出産をしてくれました。今、順調に成育中でございます。

それから、4月3日に、アメリカワシミミズクの1羽がふ化しまして、教育展示用に人工ふ化で育ててきたところです。

それから、転出・死亡の状況ですけれども、2月9日にクロザルの雄が、心臓の病気で死亡しております。

2月26日には、キジ類のハイロコクジャクが死亡しています。

3月27日には、ニジキジが東山動物園に移動しております。

4月15日には、レッサーパンダの雌が成育いたしましたので、和歌山のアドベンチャーワールドに転出し、繁殖、ペアリングが予定されております。

4月24日には、アジアゾーンに展示していた1頭のインドオオコウモリが死亡しております。このかわりに、今、沖縄のオリオオコウモリを展示中でございます。

5月27日には、つい昨日ですが、マンドリルの雄が22歳で死亡しております。

以上でございます。

○金子委員長 ありがとうございます。

それでは、新着動物等につきまして、何かございますでしょうか。

(「なし」と発言する者あり)

○金子委員長 それでは、予定していた議題は終わりました、最後はその他ですが、何かございますでしょうか。

○野村委員 動物園から送っていただいた資料を拝見していただのですが、この中の20ページに、新たな挑戦、札幌のまちづくりを担う人を育てるため、寄附文化の醸成を図るとあります。すごい昔に、上野動物園にパンダをとということで、上野動物園に行ったときに、何かでつくったパンダがあって、そこに募金箱が置いてあって、みんな募金していくというものがありました。単純な話ですが、もし80万人の来場者があって100円募金をすれば、8,000万円なのです。アニマルファミリーで500円で気軽にというその気軽さがどの程度かわかりませんが、アニマルファミリーになると、ケアをしなければいけませんね。しかし、来場して100円の寄附だったら、協力していただけると思うのです。ただ、それには目標があったほうが達成しやすいと思うのです。あと幾ら、あと幾らと、本当に不特定多数の人が、動物園のための100円を寄附すると。もちろん餌代でもいいと思うのですが、100円だったら出していただけるのではないかと思っていました。逆に、もらっても目的がはっきりすると大変だといろいろなことがあるのかもしれないけれども。

○事務局(見上円山動物園長) いいえ、いただけるものは……。

○金子委員長 募金箱はあるのですか。

○事務局(見上円山動物園長) 今は、日本動物園・水族館協会で設置しているペンギンなどの募金箱はあります。それは、円山動物園だけではなくて、国内全部の繁殖や希少種に対する寄附になります。

○野村委員 たまたま私の所属しているところでオルガンを買うことになって、一応、皆さんに呼びかけて寄附はしたけれども、全く集まらなかったのです。そこで、主宰者が、あと25万円足りないというお手紙をみんなに出して、人数で割ったら1人1,000円という感じで目標を出したのですが、やはり、これになるというものがはっきりあると、寄附の動機になると思うのです。漠然とどこかのペンギンではなくて、サル山のここを直しますとか、難しいかもしれませんが、そういうものはどうかなと思ったのです。

○事務局(見上円山動物園長) 先ほども少しお話がありましたけれども、できればゾウの導入のときにスタートさせたいと思っております。今の予定では、来年度、平成26年度の前半ぐらいで、札幌市としてゾウを導入するかどうかを決定して、公表することになりますので、その際に、どれくらいのお金がかかるのか、今は概算で20億円ということですが、もう少しきちっとした数字をお示しできると思います。ゾウだけということになるかどうかは別として、円山動物園を応援していただこうということで、そういう募金な

どもお願いしなければならないと思っておりますので、そういうときには園内に募金箱を設置したいと思えます。

○野村委員 そのときには、漠然とした募金箱ではだめだと思えます。

○事務局（見上円山動物園長） 目標ですね。

○金子委員長 そのほかございますでしょうか。

○事務局（木村経営管理課長） ほかにないようでしたら、事務局からよろしいでしょうか。

きょうは、本当にどうもありがとうございました。

次回の会議は8月に開催したいと思っております。ちょうど、現在の市民動物園会議の任期が8月までとなっておりますので、8月に開催したいと考えております。

あわせまして、新しい任期の市民動物園会議について、動物園としての考えを少しご説明申し上げたいと思っております。

改めて申し上げるまでもないのですけれども、市民動物園会議につきましては、円山動物園の基本構想に基づきまして、動物園の運営に幅広い市民の皆様の見解と、いろいろな分野の方の専門的な見地を反映させて、多くの皆さんが運営に参加することをねらいとしたものでございます。

平成19年から行われているところでございますけれども、平成23年に委員の改選を行いまして、ことしの3月には基本計画の改訂版を作成したところでございます。現在、この基本計画の改定版に基づきまして、これまで以上に来園者本位の動物園、環境教育の実践を目指しますとともに、目標でございます年間入園者数100万人を達成するため、引き続き、継続性を持って、各分野の専門家や経済界の関係者の皆様も含めた取り組みを展開する必要があると考えているところでございます。

このことから、動物園といたしましては、今期から委員になられた皆様につきましては、ご支障がない限り、委員をお願いしたいと考えているところでございます。

一方で、幅広い市民の皆様からのご意見を踏まえるという札幌市の方針がございますので、公募委員につきましては、新たに募集をさせていただきたいと考えております。

選任につきましては、また改めてご相談させていただきますけれども、今、札幌市としてはこのように考えているところでございますので、まずはご説明をさせていただきました。

参考までに、今後の公募委員の選考スケジュールでございますが、8月に任期が切れますので、7月の広報さっぽろで募集をしまして、7月まで募集ということになるかと思えます。8月に選考を行って、9月から新しい公募委員というふうにかけているところでございます。

簡単でございますけれども、次期の会議につきましては、動物園としてご説明させていただきました。

以上でございます。

○金子委員長 ありがとうございます。

今のご説明に関してはよろしいでしょうか。

(「なし」と発言する者あり)

○金子委員長 それでは、今回は8月ですけれども、先ほどお話が出ましたフェイスブックなどの情報発信につきましては、できるだけ6月の早い時期に、有志の方々に集まっていただいて、動物園側と一緒にどういうふうにしていくかをご相談させていただければと考えますが、市民動物園会議でそのように決めましたということではよろしいですか。

(「異議なし」と発言する者あり)

○金子委員長 それでは、皆さんには、ご都合がつく限りご参加していただくような形で、情報発信については、市民動物園会議プラスアルファのような形で、市が主体となるのではなく、外側の応援団が情報を発信していく形で情報発信のサイトをつくらせていただいて、運営自体は動物園の方々がボランティアにやっていただく形になると思います。その辺も含めて、次回のワーキングの中でご相談させていただければと思っていますけれども、よろしいでしょうか。

(「異議なし」と発言する者あり)

○金子委員長 それでは、ご案内につきましては、近いうちにさせていただきたいと思います。

4. 閉 会

○金子委員長 それでは、これで本日の市民動物園会議を閉会いたします。

どうもありがとうございました。

以 上